

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月17日
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	13名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5名	7名	1名	0名	13名/13名

前回の改善計画	新規利用開始前の事前訪問を行うように業務調整を行う。 職員の勤務をフロア業務に携われるよう調整を行い、コミュニケーションを行える時間を持てるようにする。
前回の改善計画に対する取組結果	利用開始前に事前訪問が困難だった場合は利用開始直後より速やかに同行訪問を行い情報共有、コミュニケーションを図ることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7名	5名	1名	0名	13名/13名
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4名	9名	0名	0名	13名/13名
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	7名	6名	0名	0名	13名/13名
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりの為に配慮をしていますか?	3名	9名	1名	0名	13名/13名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者とコミュニケーションが取れている。・問題解決に向け職員で話し合いが出来た。</li> <li>・挨拶や声掛けを心掛けた。・事前情報を確認することで情報の共有が出来た。</li> </ul>	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より深く利用者と関わることが出来なかった。・コミュニケーションの時間が取れない部分もあった。</li> <li>・家族、介護者との関係作りが上手く出来なかった。・新規利用者の開始時の状況把握や情報が不足していた。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>ご利用者、ご家族の不安を軽減できるように、サービス開始時から一定期間はよりきめ細かい記録や申し送りを行い、情報の共有を行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月17日

2. 「～したい」の実現  
(自己実現の尊重)

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1名	10名	2名	0名	13名/13名

前回の改善計画
「～したい」という気持ちを汲み取る関わり、起案を行い、生活内に取り入れていく。 「～したい」の本質に寄り添えるようなケアを提供し、少しでも出来たと思えるような関わりを行う。
前回の改善計画に対する取組結果
気持ちに寄り添い汲み取る関わりが出来た事例もあり、利用者からも不安解消に繋がる声が聞かれた。「できた」を実現されている利用者もあり、意欲が見られた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3名	7名	3名	0名	13名/13名
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4名	7名	2名	0名	13名/13名
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々の関わりができていますか?	3名	6名	4名	0名	13名/13名
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5名	6名	2名	0名	13名/13名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・ミーティング時に利用者状況を踏まえ「～したい」を考察し共有することや、モニタリングを行い次の対応に活かすことが出来た。 ・関わりの中から悩みや不満、拘りなどを聞き出すことができ、生活面へアプローチを行う事が出来た。

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・業務に追われてしまう部分があり、「～したい」を上手く聞き出せない場面もあった。また、記録も特記事項になりがちで「思い」の部分の引き出しに欠けてしまった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	本人の「強み」「出来る事」に視点をおき、記録・ミーティングの共有を行い「出来た」を一つ増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月17日

3. 日常生活の支援

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	4名	7名	1名	0名	13名/13名

前回の改善計画	ご利用者自身を知るような関わりを意識してコミュニケーションを行う。
前回の改善計画に対する取組結果	自宅の環境、毎日発信する言葉や会話、家族との会話など様々な関わりの中から生活習慣や拘り、困りごとなどを1対1の訪問支援や入浴介助中などで話を聞き、寄り添う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2名	7名	4名	0名	13名/13名
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7名	6名	0名	0名	13名/13名
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3名	10名	0名	0名	13名/13名
③ 本人の気持ちや体調の変化に気付いたとき、その都度共有していますか？	4名	9名	0名	0名	13名/13名
④ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5名	8名	0名	0名	13名/13名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること ・コミュニケーションの中で得られた情報で支援を行う事が出来た。行ったケアを発信し職員間での共有に繋がられた。
--------	--

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること ・暮らし方を把握できていない部分もあった。 ・暮らしの情報シートの記入や更新が出来ていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 職員間で統一した情報共有が出来るように暮らしの情報シートの積極的且つ継続的な活用を行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月17日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	13名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	3名	6名	4名	0名	13名/13名

前回の改善計画	定期ミーティングに制度などの研修を取り入れ、地域の社会資源についての把握を行う。
前回の改善計画に対する取組結果	病院の「地域包括ケア病棟」「認知症パス」などの仕組みについて学ぶことができ、自宅での暮らしを継続するための社会資源であることを学ぶことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	3名	9名	0名	0名	13名/13名
② 本人と、家族・介護者や地域との関係がきれないように支援していますか？	3名	8名	2名	0名	13名/13名
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	3名	7名	3名	0名	13名/13名
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	3名	5名	5名	0名	13名/13名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ミーティング時に社会資源、介護保険制度などの研修を行う機会を作れた。また研修内に出てきた制度を活用することにも繋がられた。 ・地域の店舗やコミュニティセンター、交番、町内会、友人などにも相談し、連絡を取れる関係性を作れた。 ・本人のこだわりや人間関係を理解し、関わりを持つことが出来た。
--------	--

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること ・職員主体での研修や地域との関わりの機会を持てるように検討が必要。 ・多くの社会資源の把握に至っていない。社会資源の把握をするともに活用や関係性の構築に努めたい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ミーティング時に担当を設け、定期的に社会資源や介護保険制度について学ぶ機会を作る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月17日

5. 多機能性のある柔軟な支援

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4名	8名	1名	0名	13名/13名

前回の改善計画	記録を行う際にポジティブな視点で記載するように日々の視点に注意する。 ご利用者、ご家族の状況に応じたサービス切り替えを迅速に行えるように日々の変化を共有していく。
前回の改善計画に対する取組結果	「課題」に囚われた記録になりがちである。その人が持っている力である「強み」を記録出来ていない。 家族の思い、長期的な視点を持ち、サービスの調整を速やかに対応できた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支援しようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4名	7名	2名	0名	13名/13名
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9名	4名	0名	0名	13名/13名
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気付き、ミーティング等で共有する事ができていますか?	6名	7名	0名	0名	13名/13名
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7名	6名	0名	0名	13名/13名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ご利用者の状態変化、特変などの情報共有を行い、その日の状態に応じたサービスを調整、提供することが出来た。 ・ご家族の希望を伺い、状況に応じたサービスや制度の提案を行う事が出来た。
--------	---

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること ・読み手がご利用者の状況をイメージできるような記録を行う事が出来なかった。 ・サービス変更時の記入漏れ、伝え方や捉え方のズレがあり、上手く行かなかったことがあった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 柔軟なサービス対応が出来るように、分かりやすい情報共有に努める。 記録内容に「表情」が付くように、課題だけでない「感情」「情景」なども加えた記録を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月17日

6. 連携・協働

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	1名	7名	3名	2名	13名/13名

前回の改善計画	ケアマネ以外の職員も外部の専門職との関わりを持ち、ご利用者の情報共有を行えるような場面を持つ。
前回の改善計画に対する取組結果	サービス提供現場からの視点でスタッフ一人一人が訪問看護、福祉用具など関係機関との情報交換が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	1名	5名	2名	5名	13名/13名
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1名	2名	3名	7名	13名/13名
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	1名	4名	2名	6名	13名/13名
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0名	3名	1名	9名	13名/13名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること ・コロナ禍にて地域の会議等は無かったが、地域包括支援センターとの虐待ケースの情報共有や、往診に立ち合い主治医との体調確認の共有を行う事が出来た。 ・フェニックスネットの活用も始まり、細やかな情報共有に取り組み始める事が出来た。
--------	--

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること ・福祉用具事業所の出入りはあるが、職員との情報交換ができるまでに行かない場面もあった。 ・ケアマネが窓口になるが、職員でも情報の発信や把握、知識を持てるようになれると良いと感じた。 ・コロナ禍ではあるが、地域の方との関わりをもっと持てるような工夫が必要だった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 職員1人1人が主治医や訪問看護、福祉用具担当者など専門職との関わりを持ち、相談が出来る関係性を作る。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月17日
7. 運営	メンバー	13名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2名	5名	4名	2名	13名/13名

前回の改善計画	お知らせする地域の拡大を検討し、まだ浸透していない地域への情報提供を継続して行う。職員が事業所への改善点を言いやすい環境を作り、日々の改善点を検討していく。
前回の改善計画に対する取組結果	目標とする地域拡大とまでは至らなかったが、センターミーティングにおいても事業所の地域との関わりなどを話す機会を持つことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 事業所の在り方について、職員として意見を言うことができますか?	3名	8名	2名	0名	13名/13名
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5名	8名	0名	0名	13名/13名
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5名	8名	0名	0名	13名/13名
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と共同した取り組みを行っていますか?	3名	9名	1名	0名	13名/13名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること ・職員間で意見を確認し合い、職員全体で共有することが出来た。 ・苦情に対して迅速に改善できるように職員全体で協議し改善策を実践できた。 ・満足度調査を通じ、業務に活かすことが出来た。・環境美化の取り組みを行う機会もあり改善策を講じられた。
--------	---

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること ・コロナ禍にて近隣との関わりが薄く、住宅地という立地における苦情に繋がる事案への意識が足りなかった。 ・広報配布のエリア拡大を考えたが、実践できなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)  コロナ禍で距離を取った中でも地域との関わりや情報発信ができるよう工夫を行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月17日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3名	7名	3名	0名	13名/13名

前回の改善計画	ミーティング時の研修を行っていく。 学びたい内容について検討を行い、担当を付けて学びの場面を作っていく。
前回の改善計画に対する取組結果	定期的な学習会の機会を設ける事が出来ており、基本的な知識の定着、課題に応じたものなどを取り入れる事が出来た。学びの機会について担当制を設ける事が出来ず、自己研鑽に繋がれなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか?	4名	8名	1名	0名	13名/13名
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	4名	4名	3名	2名	13名/13名
③ 地域連絡会に参加していますか?	1名	2名	4名	6名	13名/13名
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか?	8名	5名	0名	0名	13名/13名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング時にその時に合わせた内容の研修を継続することが出来た。</li> <li>・事故事案やヒヤリハットの検討、検証を行い、再発防止に取り組むことが出来た。</li> <li>・リスクマネジメントへの意識を持ち、支援に入ることが出来た。</li> </ul>	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が何を学びたいかの聞き取りに欠け、押しつけの内容になっていた。</li> <li>・外部研修の場が無く、参加が出来ていなかった。</li> <li>・認知症への対応の難しさが、多職種からのアドバイスや研修があるといい。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>職員の学びたいこと、興味のあるスキルアップなど定期的なアンケートを実施し、実践力の向上、知識を深める機会を作る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月17日

9. 人権・プライバシー

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1名	11名	1名	0名	13名/13名

前回の改善計画	「ちょっと待ってて」以外にもスピーチロックの言動が無い様に互いに注意し合える環境を作る。
前回の改善計画に対する取組結果	意識を高め、一人一人が取り組みを行ったが、時間や心の余裕の無い場面では悪気なくスピーチロックに該当する言葉が聞かれた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 身体拘束していない	7名	6名	0名	0名	13名/13名
② 虐待は行われていない	9名	4名	0名	0名	13名/13名
③ プライバシーが守られている	7名	4名	2名	0名	13名/13名
③ 必要な方に成年後見制度を活用している	1名	6名	1名	5名	13名/13名
④ 適正な個人情報の管理ができている	5名	7名	1名	0名	13名/13名

できている点 200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・トイレの使用中のプレート作成や居室にカーテンを取り付けるなど、プライバシーを守るための支援が出来ている。虐待も行っていない。  
 ・家庭内虐待が疑わしい言動や内容について職員間で共有し、包括支援センターへつなぐことが出来た。

できていない点 200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・椅子やベッドの高さ調整を行えておらず、自立動作の妨げになってしまっていた。・繰り返し同じ訴えをされる方への対応が出来ていなかったように感じる。・自分の業務が優先になり、優先順位の工夫が出来ていなかった。  
 ・成年後見制度の対象者はいなかったが、情報提供するための学びをしたい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 職員一丸となりスピーチロックなどの日常の虐待に繋がりが得る事案への意識を持てるようにアンケートや研修を定期的に行っていく。